

新市場創造型標準化制度

企業相談会のご案内

～市場を創るために自ら規格を作りませんか～

新市場創造型標準化制度に関する企業相談会（無料）を
下記のとおり、全国8か所にて行います。

この制度は、中堅・中小企業等が開発した優れた技術であり、新市場の創造又は拡大が見込まれるものの、既存の規格ではその適切な評価が難しく普及が進まない技術・製品について、性能の評価方法等の標準化を支援する制度です（制度詳細は次頁参照）。

優れた技術を保有し、その標準化にご興味ご関心ある皆様におかれましては
最終頁の面談申込書にご記入の上、当事務局までお送りいただきたくお願い申し上げます。
各地におきまして、標準化アドバイザーが皆様のご相談に対応させていただきます。

全国大会（東京）	10月 3日（水）	都市センターホール
北海道地区大会（札幌）	10月 19日（金）	北海道経済センター
東北地区大会（仙台）	10月 30日（火）	イズミティ 21
中部地区大会（名古屋）	10月 29日（月）	今池ガスビル
近畿地区大会（大阪）	10月 26日（金）	ドーンセンター
中国地区大会（広島）	10月 23日（火）	広島県民文化センター
四国地区大会（高松）	10月 24日（水）	サンポートホール高松
九州地区大会（福岡）	10月 29日（月）	福岡国際会議場

新市場創造型標準化制度

企業固有のとがった（優れた）技術であり 新市場の創造又は拡大が見込まれるものの、既存の規格ではその適切な評価が難しく普及が進まない技術・製品について、新たに国際標準（ISO/IEC）又はJISを制定しようとする際、

- ① 制定しようとする規格の内容を扱う業界団体が存在しない場合
- ② 制定しようとする規格の内容を扱う業界団体が存在するものの、その規格作成の検討が行われていない、あるいはその規格作成の検討が行われる予定がない場合
- ③ 制定しようとする規格の内容が複数の業界団体にまたがるため調整が困難な場合

のいずれかに該当するものを対象として、従来の業界団体による原案作成を経ずに、迅速な規格原案の作成等を可能とする制度です。本制度に採択された案件は、経済産業省の委託事業として規格原案の作成支援と国際標準提案の場合は旅費支援等を受けることができます。

(注)

- ・ISO/IEC又はJISはその性格上、制定に当たって利害関係者のコンセンサス形成が必要ですが、本制度は上記①～③に該当するものに限り、既存の枠組みではコンセンサスを得るものが難しい案件を対象として、経済産業省が規格の制定を支援する制度です。ただし、その制定にあたっては原案作成委員会等でのコンセンサスが必要なため、本制度に採択されたことをもって規格の制定が実現できるとは限らないことに留意が必要です。
- ・JISの場合、経済産業大臣専管である案件に限定されます。
- ・JISの場合、本制度の採択は日本工業標準調査会「規格案審議ガイドライン」別紙1「国家標準とすることの妥当性の判断基準」を満たすことが前提です。また既存のJISとの整合が取れることも条件となります。<http://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/guideline.pdf>

標準化までの期間が短縮します。



新市場創造型標準化制度を活用した事例

蛍光式酸素濃度計に関する標準化 株式会社 オートマチックシステムリサーチ (東京都、従業員9人)

耐久性、測定性能に優れる蛍光式の酸素濃度計の評価方法を標準化。

平成28年12月
20日付
JIS B 7921として
公示済



高機能性塗料による表面処理方法の標準化 株式会社 竹中製作所 (大阪府、従業員155人)

耐久性、耐食性等に優れる高機能性塗料による金属の表面性能を標準化。

平成28年12月20日付
JIS Z 8921として公示済



プラスチック再生事業の生産プロセスに関する指針JISの開発 株式会社 レノバ (東京都、従業員196人)

再生プラスチック生産プロセスの信頼性等向上に資する品質マネジメントシステム (JIS Q 9001) の分野別指針を標準化。

平成28年10月20日付
JIS Q 9091として公示済

腰補助用装着型身体アシストロボットの性能要求事項に関する標準化 CYBERDYNE 株式会社 (茨城県、従業員104人)

公正な比較を可能とする性能基準、性能測定用の試験手順や試験装置の試験方法を標準化。

平成29年
10月20日付
JIS B 8456-1
として公示済



この他の取組み事例については、<http://www.jsa.or.jp/stdz/partner.html>をご参照ください。

標準化の効果

自動車用緊急脱出ツール：株式会社 ワイピーシステム (埼玉県、従業員25人)

JIS D 5716(自動車用緊急脱出支援用具)として平成28年9月に公示された以降、自動車用品の生産販売業者等からJISマーク表示・認証取得の問合せが多数あり、市場における不良品排除に繋がることが期待される。



液体用高機能容器：株式会社 悠心 (新潟県、従業員12人)

JIS Z 1717 (包装-液体用高機能容器)として平成28年10月に公示された以降、大手食品業界等への認知度が高まり、新規販路の拡大に繋がった。



企業相談会申込書

ご希望の地区及び時間を選択し必要事項をご記入の上、E-mail又はFAXにてお申し込みください。
お申込み E-mail:stad@jsa.or.jp FAX:03-4231-8662

御社名：			
御所属：		御担当者氏名：	
E-mail：		電話：	FAX：
御住所： [〒]			
企業面談希望地区の時間をお選びください。なお、面談日時は調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。 確定した日時については、後日、事務局よりE-mailにてご連絡いたします。			
地 区	開催場所	日 付	時 間
<input type="checkbox"/> 全国大会（東京）	都市センターホール	10月3日（水）	<input type="checkbox"/> 10：00～11：00 <input type="checkbox"/> 11：00～12：00 <input type="checkbox"/> 13：00～14：00 <input type="checkbox"/> 14：00～15：00
<input type="checkbox"/> 北海道地区大会（札幌）	北海道経済センター	10月19日（金）	
<input type="checkbox"/> 東北地区大会（仙台）	イズミティ21	10月30日（火）	
<input type="checkbox"/> 中部地区大会（名古屋）	今池ガスビル	10月29日（月）	
<input type="checkbox"/> 近畿地区大会（大阪）	ドーンセンター	10月26日（金）	
<input type="checkbox"/> 中国地区大会（広島）	広島県民文化センター	10月23日（火）	
<input type="checkbox"/> 四国地区大会（高松）	サンポートホール高松	10月24日（水）	
<input type="checkbox"/> 九州地区大会（福岡）	福岡国際会議場	10月29日（月）	
相談内容等	1. 標準化の対象範囲		
	2. 類似の製品・技術の有無、他社製品・技術との違い・技術的優位性		
	3. 御社が抱えている課題等		
	4. 関連する規格の有無及び関連する特許取得状況		
	5. 関係業界団体の有無、関わり		
	6. その他（問題点等）		

お問合せ：一般財団法人日本規格協会 担当：蛭間、岩田、浅井 電話：03-4231-8540

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入された個人情報については、保護法を遵守し、法令の定める場合を除き第三者への提供は行いません。